

「働くこと」のイメージが変わりました。 まだ体験していない方に“めっちゃ”推薦します

参加のきっかけ：

工業系大学のせいか、同じ2年生でも就職に対して意識の高い学生が多く、少し焦っていました。働く心構えや必要なスキル、能力を知りたいと大学の就職課に相談したところ、私が岩手県出身と知っていた担当の先生からジョブカフェいわてのインターンシップ(IS)窓口のチラシを見せてもらい、連絡を取って参加が実現しました。

参加してみて：

ジョブカフェいわてのスタッフから、サイト「インターンシップin東北」を紹介していただき、自分でIS先を選びました。選定の基準は1年次に学んだ3DCADができる企業。3DCADの授業は大変興味深く、面白いと感じていました。受け入れていただいた河西テクノ(株)は3DCADによる設計を行い、日本のものづくりに貢献している企業でした。5日間のISでは「設計エンジニア業務」の実習をしました。大学で習ったのとは違うCAD「CATIA V5」を一から教えてもらいました。基本はマスターできたと思います。

ISに行く前は、教員志望でした。高校時代、硬式野球部のキャプテンをしていたこともあって漠然と「部活の指導者もいかな」という程度でした。それがISを経験し、ものづくりの民間企業もいかなと思うようになりました。「働くこと」のイメージに「楽しい」はありませんでしたが、職場体験をして考えが変わりました。社会人の方々が生きがいややりがいを感じて仕事をしている姿が印象的でした。働いている方からは「学生時代は時間があるから、長い旅行で視野を広げたり、いろいろ挑戦してみてください」とアドバイスを受けました。

voice: サポートデスク スタッフから

及川さんは2年生の夏にインターンシップに参加しました。周囲の学生の動きが早いことから就職課に相談に向いたのがきっかけとなりました。受け入れ先企業も充実したプログラムで応え、体験を終え「今はこの会社が第一志望です」と話すぐらいです。でも次の長期休みには別の業種のISに参加することも考えています。ISは自分が行きたい企業だけで終わるのではなく、別業種も体験することで、職業観を広げたり、自分の希望を再確認できる機会になります。及川さんは古里岩手にUターン就職するかどうかはまだ分かりません。しかし、早めに参加したインターンシップが今後の就職活動を支える羅針盤の一つになったようです。今後も今回のような行動力を生かして就活を進めてほしいと思います。

体験したのは！

及川 景介さん

(紫波町出身)

湘南工科大学

工学部機械工学科

小学校3年から始めた野球は中高も続け、高校時代は硬式野球部のキャプテンをしていました。岩手県にUターンしようと思ったのではなく、地元岩手でのインターンシップはバイクの免許取得とセットで行いました。最寄の駅から会社までタクシー代の補助を受け、大変助かりました。

実施プログラム！

河西テクノ株式会社岩手分室のカリキュラム

5日間のカリキュラムで、プログラム名は「3次元CADに学ぶカーインテリア」。同社では目指すゴールを「PDCAの流れに沿った模擬業務を通して学生自らが気づきを得る」としている。参加学生にはしっかりした目的意識を持つよう求めている。

実習先：河西テクノ株式会社岩手分室

(専門・情報サービス業)

所在地：北上市相去町山田2-15 北上産業業務団地（オフィスアルカディア）内
事業内容：自動車内装トリムの設計業務

- ・ 1日目 午後から開始。オリエンテーション、CAD基本操作
- ・ 2日目 コミュニケーショントレーニング、3Dイメージ体験、CAD体験
- ・ 3日目 CAD体験（モデリング編）ボティ形状作成
- ・ 4日目 同 部品作成（ライト、グリル、ミラー、ナンバープレート）
- ・ 5日目 同（図面編）と体験発表、フリートーク座談会など